

From the Collection of The Museum of Modern Art, Wakayama
MODERN PRINTS



アンリ・マティス 『ジャズ』より《機(そり)》 1947年 ステンシル、紙

モダン・プリント

コレクションにみる世界の版画

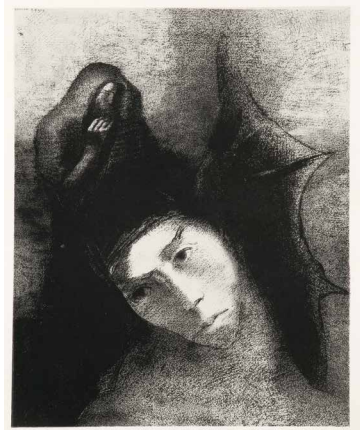
和歌山県立近代美術館 

2022年4月9日[土]–6月26日[日]

640-8137 和歌山市吹上1-4-14 tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337 www.momaw.jp



1



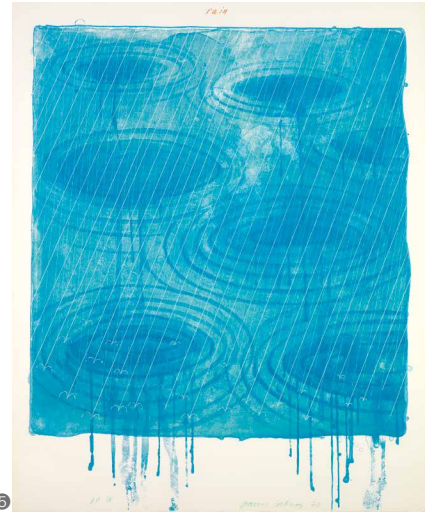
2



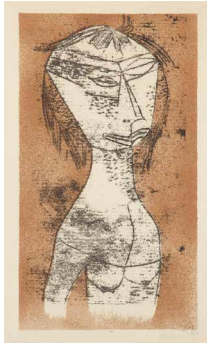
3



4



5



6



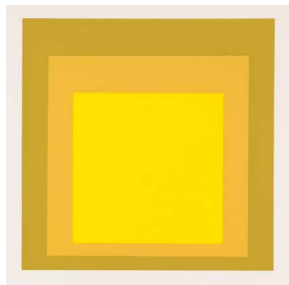
7



8



9



10

版画は、図や文字などのイメージを複製するための技術を用いた表現です。現在では技術の発達と解釈の多様化により、その表現は広がりを見せています。技術自体の歴史は古く、日本には仏教伝来とともに流入し、西洋でもキリスト教の布教によって広まりました。しかしそれを使った表現が美術のなかに位置づけられるのは、近代以降のことです。つまり本展のタイトル「モダン・プリンツ」とは、近代版画という意味でありながら、美術作品としての版画そのものを指しています。

和歌山県立近代美術館は、版画についての収集や展示、また調査研究に力を入れてきました。それは和歌山が多くの版画家を輩出してきたからでもあります。当館が対象とする近代美術の展開に、版画が大きな役割を果たしていたことも関わっています。表現のなかにオリジナルと複製の問題を内包した版画は、複製技術の発展にも支えられて、既存の美術概念にさまざまな問題を提起し、その拡張に影響を与えてきたからです。近代美術史に名前を残す多くの美術家たちが、版画の制作を試みてきたことが、その証拠とも言えます。

今回の展覧会では、当館の20世紀西洋版画コレクションを中心に、日本の近代版画にも影響を与えたエドヴァルド・ムンク、西洋が日本の版画と出会った時代を代表するエミール・オルリックとその周辺、パブロ・ピカソの代表作や晩年のアンリ・マティスが新たな表現として開拓した切り絵のステンシル作品、そしてアメリカの戦後美術を支えた版画工房と画家の共同作業など、近代版画の多様な側面を紹介し、版画を通じて近代の意味を考えます。

- 1 アンリ・ド・トゥールーズ・ロートレック《キャバレーのアリステイド・ブリュアン》1893年 リトグラフ、紙 個人蔵
- 2 オディロン・ルドン『聖アントワヌの誘惑』第3集より《アントワヌ：これらすべての目的は何だろうか？/悪魔：目的などはないのだ!》1896年 リトグラフ、紙 *後期展示
- 3 エミール・オルリック《画家フェルディナント・ホドラーの肖像》1904/1905年 木版、紙
- 4 ヴァルター・クレム《スケート場》1909年 木版、紙
- 5 デイヴィッド・ホックニー「天候シリーズ」より《雨》1973年 リトグラフ、シルクスクリーン、紙 © David Hockney/Gemini G.E.L. Photo Credit: Richard Schmidt
- 6 パウル・クレー《内なる光の聖女》1921年 リトグラフ、紙 *前期展示
- 7 エドヴァルド・ムンク《ビルギッテ III》1930年 木版、紙 個人蔵 *後期展示
- 8 アンリ・マティス『ジャズ』より《イカルス》1947年 ステンシル、紙 *前期展示
- 9 フィンセント・ファン・ゴッホ《馬鈴薯を食べる人々》1885年 リトグラフ、紙 個人蔵
- 10 ジョセフ・アルパース『Formulation:Articulation』より1972年 シルクスクリーン、紙 © 2022 The Josef and Anni Albers Foundation/Artists Rights Society (ARS), New York/JASPAR, Tokyo 所蔵表記のないものは、すべて和歌山県立近代美術館蔵

会場：和歌山県立近代美術館 2階展示室

会期：2022年4月9日【土】-6月26日【日】*5月23日【月】に一部展示替えを行います

開館時間：9時30分-17時【入場は16時30分まで】 休館日：月曜日

観覧料：一般520【410】円、大学生300【260】円 【】内は20名以上の団体料金 *高校生以下、65歳以上の方、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料 *4月23日、5月28日、6月25日【毎月第4土曜日】は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 *5月1日、6月5日【毎月第1日曜日】は入館無料

関連事業 内容の変更、事業の中止を行う場合は、当館ウェブサイトでお知らせします。

フロアレクチャー【学芸員による展示解説】
4月30日【土】、5月15日【日】、5月29日【日】 各日14時から1時間程度、展示室にて。*要観覧券

子ども美術館部【小学生を対象とした作品鑑賞会】
5月14日【土】、15日【日】 各日11時より1時間程度 *当館ウェブサイトより事前申込。定員6名程度。

同時期に開催の展覧会

コレクション展2022-春夏 特集：生誕130年 田中恭吉
4月29日【金・祝】-7月3日【日】

県立博物館(と)の展覧会

企画展 和歌祭と和歌の浦
3月12日【土】-4月17日【日】

特別展 きのかにの殿若経 —わざわいはらう經典—
4月23日【土】-6月5日【日】

企画展 幕末から明治のきのかに文人画
6月11日【土】-7月10日【日】



交通案内：◎JR和歌山駅から：バスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
◎南海電鉄和歌山駅から：徒歩15分/バスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
◎南海電鉄なんば駅から和歌山駅まで特急で約1時間 ◎JR新大阪駅からJR和歌山駅まで特急で約1時間 ◎駐車場：2時間まで無料、以後30分ごとに100円